

令和 2 年度 鬼怒中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

○気力あふれる生徒 ○創造性を伸ばす生徒 ○心の豊かな生徒 ○進んで仕事をする生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（1）目指す学校像

- 活力に満ちた明るく，楽しい学校
- 互いを認め合い，思いやりのある学校
- 保護者・地域から信頼される学校

（2）目指す教師像

- 高い指導力と愛情をもって，生徒と向き合える教職員
- 生徒のよさを認め，伸ばす教職員
- 協調性に富み，責任感のある教職員

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

生徒を中心とした活力に満ちた明るく，楽しい学校づくりを目指し，全教職員が和と協力，熱意，人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組むとともに，地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進する。

- （1）確かな学力の育成・・・新学習指導要領の求める主体的・対話的で，深い学びとなるように授業の工夫改善に努める。また，自ら学習する態度の育成を図るため家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保について指導していく。
- （2）豊かな心の育成・・・生徒が活躍できる場の設定と異年齢集団活動及びボランティア活動の充実を図り，心豊かな生徒の育成に努める。
- （3）安全指導の徹底と健康体力の増進・・・登下校の安全の徹底を図るとともに食育及び心身の健康に関する指導の充実を図る。
- （4）特別支援教育の充実・・・全教職員の共通理解のもと，配慮が必要な生徒に対して組織体制を確立し，連携協力して指導する。
- （5）小中一貫教育の推進・・・地域学校園の部会組織を見直すとともに，小中が抱える共通の課題を明確化し連携して解決を図る。また，児童・生徒の交流する機会を検討し実践していく。
- （6）家庭・地域との連携強化・・・学校教育への理解を深めるため，家庭や地域に情報を積極的に発信するとともに，生徒の地域行事への参加を促す。
- （7）教職員の健康安全管理と資質の向上・・・校務の効率化を意識し，組織的な対応を図る。また各自が課題を意識し，教育のプロとしての自負と責任をもちコンプライアンスを遵守する。さらには，学びあいの精神で授業力の向上を図る。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

～学習や学校行事等を通して，学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成～

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域や施設設備，教員構成及び生徒の実態，発達段階や特性等を十分に配慮し編成する。
- (2) 基本的な「学び方」の習慣を身に付けさせるため，教科における学習指導はもとより，道徳や特別活動，総合的な学習の時間等で意図的・計画的に指導を行えるように編成する。
- (3) 好ましい人間関係の醸成，基本的なモラルや社会生活上のルールの習得，他者と協力して，よりよい生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育成するため，道徳や特別活動を効果的に展開できるように編成する。
- (4) 他者に対する思いやりの心や，不正を絶対に許さないという心，さらには良いことを進んで行おうとする意欲を，全教育課程で育て，生徒自身の心に「いじめに対する抑止力」を付けさせる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】・創意と調和のある教育課程の編成・実施するとともに学校課題の解決に努め，教職員が一致団結しての学年・学級経営にあたり，信頼される学校づくりを推進する。特に今年度は，教職員を組織化し「歯と口の健康指導」の研究への取組を通して，資質能力向上に努める。
- 【学 習 指 導】○主体的に学ぶ生徒の育成に務め確実に基礎・基本的内容の定着に努める。また，日頃から積極的に対話的活動を展開し，深い学びに繋げる。
- 【児 童 生 徒 指 導】○日常生活の中で優しい心を培うとともに集団生活を通して互いを認め合い，他者を思いやる態度の育成を図る。
- 【健康(体力・保健・食・安全)】 ○進んで運動に親しむ態度の育成と，安全で心身が健康な生活を送る態度の育成を図る。

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
指導する生徒の姿勢	A1 生徒は，進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 85%以上	① 毎時間「ねらいを示す」「振り返りを行う」を徹底して行い，知識の定着を図る。 ② 自主学習ノートを活用し，家庭学習の定着を図る。 ③ 深い学びにつながるよう，言語活動の充実を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 生徒は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 85%以上	① ビカビカクリーン作戦や各地区の体育祭におけるボランティア活動等，異学年集団や地域の方との協働を通して，豊かな心の育成を図る。 ② 生徒の信条の合言葉、「もっと優しくなろうよ」「優しさ倍返し」を，いろいろな場面で意識させる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 生徒は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 75%以上	① 教職員の共通理解，共通指導の充実を図る。 ② 生徒主体で，きまりの遵守やマナー向上の意識を高めさせるため，生徒会専門委員会の活動を活発化させる。		【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 生 徒 の 姿	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上	① 大きな声ではっきりと挨拶ができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導する。 ② 生徒会主催のあいさつ運動を計画的に実施し明るく元気に挨拶する習慣を身につけさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上	① 学校行事や部活動等において、目標をもたせ、その達成に向けてあきらめずに努力する力を育てる。 ② キャリア教育を推進する。特に、本年度より実施するキャリアパスポートを活用した授業の実践を確実に行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	① 保健体育の授業や新体力テスト等により、生徒が自身の体力の現状を把握できるようにする。 ② 登下校時の交通安全指導、緊急時の避難訓練、学校生活での事故防止の指導等において、生徒が自分の判断で行動できるように指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上	① 「職業について学ぶ」(1年)、「社会体験学習」(2年)、「自己の生き方について考える」(3年)を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る ② 奉仕活動、あいさつ運動、ボランティア活動等に積極的に参加し、社会の一員である自覚を促すとともに、社会貢献の態度の育成を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上 生徒の肯定的回答 85%以上	① 英語の授業で、ウォームアップの際に既習の英語を用いた生徒同士のコミュニケーションを行う。 ③ 英語の授業の中で、英語のみを使ったやりとりの活動を取り入れる。 ④ 新出単語や表現の学習の際に、どんな場面で使われるものなのか具体的にしめす。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	① 総合的な学習の時間において、地域の産業や農産物、文化財等を調べる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上	① 調べ学習や発表活動等の場面で、ICT機器の利用を推進する。 ② 調べ学習に対応できるよう図書を整理・購入する。 ③ 教職員のICT活用研修を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 生 徒 の 姿	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 85%以上	① 体育祭で高砂荘の高齢者を招き、一緒に活動する場面を設定する。 ② 福祉委員会で高砂荘の行事に参加する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上	① 教科（技術家庭科，社会科，保健体育科，理科）や特別活動、総合的な学習の時間の学習や活動を通して、「持続可能な社会」について理解させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 生徒は、登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 75%以上	① 交通マナーやルールについて具体的な例をあげたり、実技を取り入れたりして、生徒が主体的に判断できるような指導を行う。 ② P T Aによる「愛の一声運動」の実施。 ③ 危険箇所については、通学路の整備・見直しを実施し、保護者・地域からも行政に働きかけてもらう。	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上	① 教育相談部会において情報交換をしっかりと行い、適切な支援を行う。 ② 必要な生徒については個別の支援計画を作成し具体的な支援について情報の共有を図る。 ③ 担任・SC・MS・教育相談担当が連携し、保護者との面接などを積極的に行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 70%以上	① 学校教育活動全般において人権教育を推進する。 ② いじめゼロ強調月間において、生徒が主体となる取組を実施する。 ③ いじめ防止の取組について、各種の便り等を用いて、家庭や地域に情報を発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	① 学級が安心できる場になるよう、それぞれの個性や特性を認め合う集団作りを行う。 ② 挨拶や励まし等のコミュニケーションをとったり、スタンダードダイアリーを活用したりすることで、生徒の少しの変化を見逃さないように心がける。 ③ 家庭との連携を密にとり、初期段階で迅速な対応をとることで、早期解決を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上	① 該当生徒保護者と面談し、日本語ボランティアなどの関係機関と連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 一人一人を大切にする教育活動を実践し、生徒の所属感や自己有用感を育成する。 ② 学校行事等において生徒会の活動を積極的に取り入れる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 一斉指導の中の個別指導を念頭に、設問や机間指導の際に、個に応じた配慮を行う。 ② 校内研修として、一人一授業を実施し、授業力の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	① 教職員の経験年数や専門性を考慮して校務分掌を割り振る。 ② 学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、学校内の環境整備の充実を図る。 ③ SCを活用し、教育相談及び生徒指導上の問題解決のためにケース会議時のコンサルテーションを行ってもらう。 ④ 学校図書館司書業務との連携を意識した図書館での学習を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	① ミラタイム出退勤管理の利用を徹底する。 ② 部活動地域指導者等を有効活用することで、教員の業務削減を行う。 ③ リフレッシュデーを月 1 回設定する。 ④ 効率の良い会議を目指し、事前の資料配付や要点のみの発表など時間短縮を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上	① 地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、生徒指導を実践する。 ② 学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	① 地域コーディネーターと連携し、魅力ある学校づくり地域協議会の有効活用を推進する。 ② 新4号国道のフラワーロードの整備を行う。 ③ 高齢者施設や地区内のお祭りなどへのボランティア活動を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	① 地域団体と地域連携教員及びコーディネーター、PTA との連携を深め、ともに連携した特色ある学校づくりが定着するよう努めていく。 ② 生徒のボランティアの募集を計画的に行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 地域住民の肯定的回答 95%以上	① 安全点検を確実に行う。 ② 学校施設利用簿の管理をきちんと行う。 ③ 学校業務嘱託員や機動班との連携を行い、学校内の環境整備を充実させる	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上	① I C T 機器の適切な場所での保管を徹底する。 ② 図書選定委員会を適切に実施し、調べ学習等に必要な図書の整備を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B2 生徒は授業中に先生 や友達の話をよく聞くな ど、落ち着いている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上	① 話す・聞く・考えるといった学ぶ力 や学習に取り組む態度を育てる。 ② 授業に集中できる環境を整えるた めに、教室の学習環境の設備に努め る。 ③ 学業指導について教職員での共通 理解と共通指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
---	---	---	--------------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。